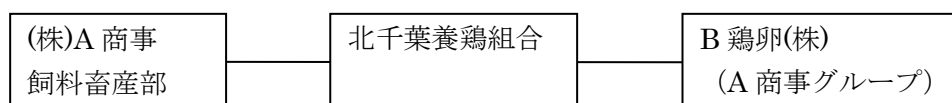


北千葉養鶏組合の悩み

各農家で出資し、農場が見える仕組みを作るべきか？
作るとしたら、どのようなシステムを作ればよいのだろうか？

- 北千葉養鶏組合 2008 年時点の状況
 - 5 農場からなる。千葉県東総地域の農事組合。
 - もともとは飼料を A 商事から共同仕入れするための組合
 - 年商 10 億円
 - ◇ 養鶏事業の場合、飼料代が 5 - 6 割を占める
 - M 農場
 - ◇ 北千葉養鶏組合の鶏卵生産量の 60% を占めるメインの農場。
 - ◇ 現社長の先代より農業・卵・牛をてがけてきた。
 - ◇ 事故米事件で露呈した農水省の無責任ぶりに憤慨している
 - 減反政策で苦しんでも先代は「国のため」といって頑張ってきたのに。
 - 減反の補助金は経費で消えるため農家の足しにならない。
 - 事故米の飼料への使用可能性を調査にきた某財団法人所属の研究者に猛抗議（自論を展開）していた。
 - 「死刑に（値する）」
 - 研究者「私は農水の間人ではないので・・・」
 - 養鶏農家の悩み
 - ◇ 市場が求める付加価値をつけなければ、という危機感
 - ◇ “寄せ集め卵” は嫌われる。玉石混交だと格外卵と評価され工業卵になる。

➤ サプライチェーン



- A 商事グループ
 - (株)A 商事 商社
 - ◇ 飼料畜産部の年間売上 450~460 億、うち 5 億円が北千葉養鶏組合への販売。
 - B 鶏卵(株)
 - ◇ 鶏卵の販売会社。GP センターを作ったら「うちらが売りませ」
 - ◇ 北千葉養鶏組合との取引は総量買取契約ではない。
 - ◇ 販売先のひとつは千葉コープ。

本資料は東京海洋大学大学院の講義用に小川美香子が作成した。実在の事例を元に教材として編集を加えてあり、経営の巧拙を示すものではない。(2013 年 5 月)